

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
912	西洋哲学史 <History of Occidental Philosophy>	科学哲学・講義		演習
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
哲学	田村 均(TAMURA Hitoshi)		後期	木曜：4限
講義題目 Title	デイヴィッド・ヒューム研究2			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	英語の文献を読む授業です。辞書と文法知識をたよりにして、自分の力で英語の文献を読解する訓練をします。			
授業の目的 Purpose	<p>(1) 西洋近代を乗り越える最初の試みであるデイヴィッド・ヒュームの哲学について、基本的な理解を得ること。 (2) 標準的な英語の哲学文献を読解するための基礎的な知識と技能を得ること。</p> <p>The aim of this course is to have basic understanding about David Hume's philosophy and acquire necessary skills and knowledge for the study of seventeenth- and eighteenth century English philosophical texts.</p>			
授業の内容 授業の方法 Content	<p>【内容】 David Hume, A Treatise of Human Nature, edited by David Fate Norton and Mary J. Norton. 2000. Oxford University Press. を精読します。2017年度後期は、前期の続きから読み始めます。なお、今年度の主題は、ヒュームの意志と直接情念の理論です。</p> <p>【方法】 演習形式で行ないます。受講生はテキストの担当箇所をよく読んで日本語に訳し、教員が質問や説明を追加した後、全体で質疑応答を行ないます。</p>			
教科書 テキスト Textbooks	上記【授業の内容】欄に記載した著作（コピー使用可）。			
参考書 References	中才俊郎『ヒューム読本』（法政大学出版社） D. F. Norton & J. Taylor (eds.), The Cambridge Companion to Hume, 2nd Edition (Cambridge University Press)			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	授業に出席する前にテキストを熟読し、概括的な理解を得て、不明な点や疑問に思われる点を確認しておくこと。			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	<p>【方法】 (A) 平常の授業への取り組み（訳読と討論への積極的な参加）の程度と、(B) 期末試験（英文の日本語訳及び内容の説明）の成績を合わせて評価します。(A) (B) をそれぞれ50%として合算します。</p> <p>【基準】 平常の授業においては、(1) 英語の哲学文献を正確に読みこなす技能を身につけているかどうか、(2) ヒュームの哲学的主張を正確に理解しようとしているかどうか、を評価の基準とします。試験においても、同様に、(1) ヒュームの文章を正確に翻訳できるかどうか、および(2) ヒュームの哲学的主張を適切に説明できるかどうか、を評価の基準とします。</p>			
連絡方法 Contact information	電子メールアドレス： htamura@lit.nagoya-u.ac.jp 研究室 文学部棟 3 3 1 号室			